

## 完了後の評価個表

整理番号	28
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	宮崎県
地域（地区）名	おおよどがわ 大淀川	事業実施主体	県、市町、森林組合等
関係市町村	みやざき 宮崎市ほか7市町	管理主体	県、市町、森林組合等
事業実施期間	H23年度～H29年度（7年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地区は、県の中部から南西部に位置する大淀川流域の4市4町からなっており、比較的平坦な宮崎平野の南部に含まれる宮崎地域、1,000mを超える山々が連なる霧島山地がある西諸県地域、霧島山地と鱈塚山地に囲まれた山間盆地である北諸県地域の3地域から構成されている。</p> <p>本地区の私有林の面積は71千haで、そのうち人工林の面積が47千ha（人工林率67%）、スギが全体の81%を占めている。人工林の齢級構成は11齢級をピークに11齢級から13齢級が47%と伐採適期を迎える高齢級林分の占める割合が大きくなっている。</p> <p>このような現状から本地区では、充実した森林資源を有効に活用しつつ、確実な再造林を進めることで、「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業を構築するとともに、「森林の若返り」による齢級構成の平準化により健全な森林を育成し、木材の安定供給の確保及び水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図る必要がある。</p> <p>しかしながら、健全な森林を育成するための森林施業を推進する上で、費用負担や担い手不足等が支障となっているため、本地区では、森林施業の集約化・機械化等を通じた効率化を図りつつ、各市町が策定している市町村森林整備計画に基づく適正な森林の管理を促進している。</p> <p>本事業は、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進及び将来にわたっての木材の安定供給の確保を図るため、造林や保育、間伐等の森林施業を効率的に実施したものである。</p> <p>・主な事業内容 森林整備 13,394ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐等</p> <p>・総事業費 3,994,842千円（税抜き3,743,892千円） （平成22年度の評価時点 2,773,432千円）</p>
----------	--

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和5年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、労務単価の上昇や優先度の高い箇所から実行したことに伴う事業量の変動、費用便益分析で使用する単価の変化等によるものである。</p> <p>総便益（B）62,828,305千円（平成22年度の評価時点19,783,748千円※）          総費用（C）9,508,740千円（平成22年度の評価時点5,805,361千円※）          分析結果（B/C）6.60（平成22年度の評価時点3.40※）</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新、保育等によって13,394haの森林が整備され、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</li> <li>・森林整備の発注により雇用の場が提供され、地域経済の振興に貢献した。</li> </ul>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理されており、良好な管理状況にある。</li> </ul>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備の実施により健全な森林が育成され、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能が発揮されている。</li> </ul>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の産業別人口は、第1次産業8%、第2次産業19%、第3次産業73%となっており県平均に比べて第1次・第2次産業の占める割合が低く、第3次産業のウエイトが高い状況にある。また、林業の生産額は、第1次産業の7%を占めている。</li> <li>地域の製材工場は県全体の33%程度に当たる43の工場があり、出力階層別製材工場数の内訳は、大規模工場の割合が大きくなっている。</li> <li>こうした状況の中、林業の現場では、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が進められており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターの育成を推進している。</li> <li>また、県内の大規模な製材工場等へ、スギを主体とした本地区の豊富な森林資源を将来にわたって安定的に供給し、地域経済の振興に寄与していくことがますます求められている。</li> </ul>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の有する公益的機能の維持増進を図るとともに、将来にわたる木材の安定供給を確保するため、森林経営計画等に基づく適切な森林整備を引き続き推進する必要がある。</li> <li>・「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業の確立のため、コンテナ苗による植栽や伐採と造林の連携による一貫作業、下刈り等の保育作業を省力化し、低コスト再造林に取り組むことで、厳しい環境下にある林業経営体の安定的な収益の確保を図る必要がある。</li> </ul> <p>地元の意見：          （宮崎県）</p> <p>森林整備事業実施により水源涵養や山地保全等の公益的機能の発揮に寄与している。今後も素材生産や木材加工業者等との意見交換を継続し、川上から川下まで一体となった再造林支援の仕組みづくりを行っていく。</p>

評価結果	<p>必要性： 水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、適正な造林や保育、間伐等の森林整備が必要であることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的かつ適確な森林整備を実施しており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られていることから、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

※平成 22 年度評価時点における数値について、消費税を含んだ数値である。

# 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

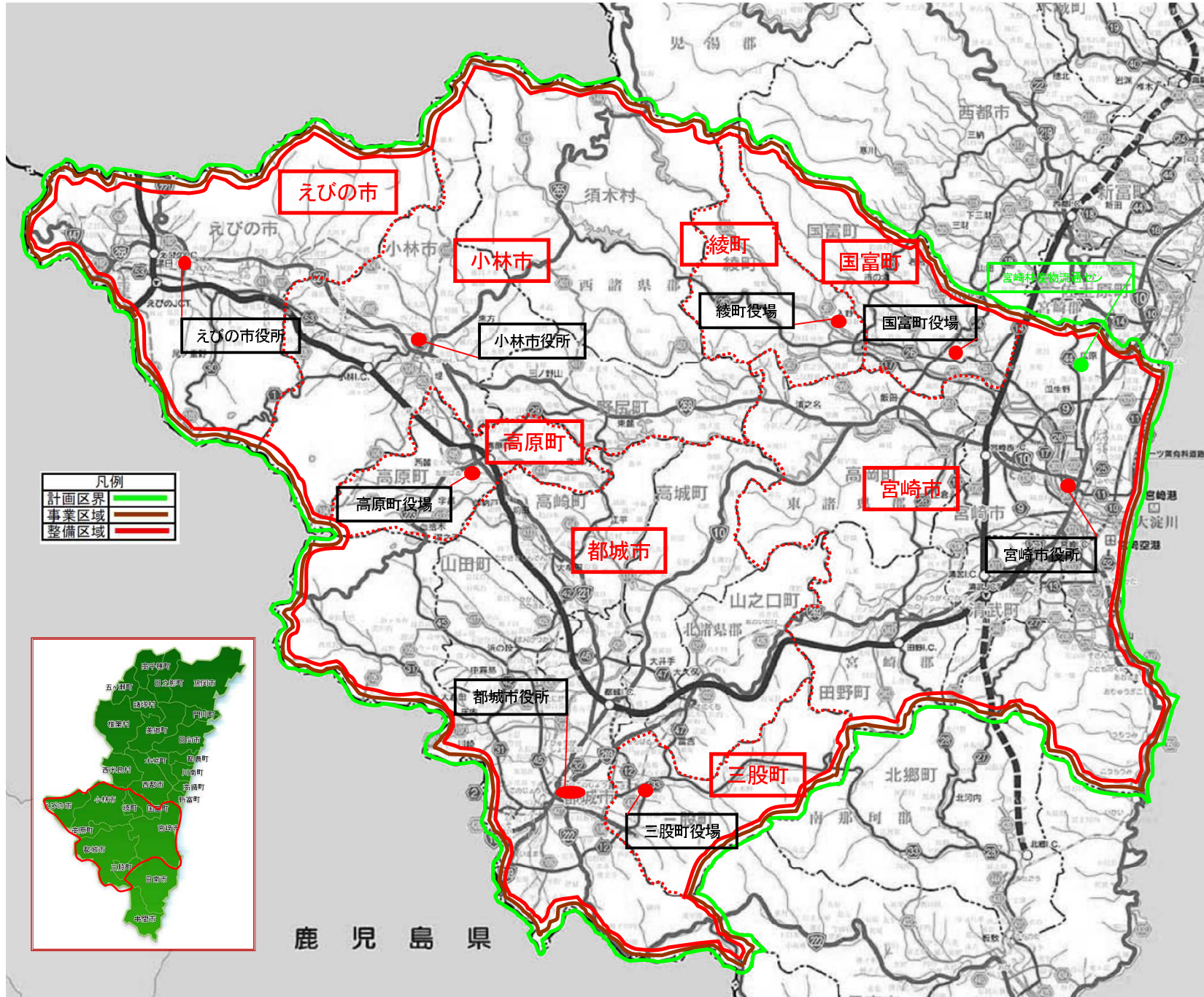
都道府県名：宮崎県

地域(地区)名：大淀川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	15,831,972	
	流域貯水便益	5,952,073	
	水質浄化便益	22,176,819	
山地保全便益	土砂流出防止便益	12,692,283	
環境保全便益	炭素固定便益	2,130,313	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	4,044,845	
総 便 益 (B)		62,828,305	
総 費 用 (C)		9,508,740	
費用便益比	$B \div C = \frac{62,828,305}{9,508,740} = 6.60$		

# 森林環境保全整備事業計画 大淀川地域（宮崎県） 概要図



鹿児島県